

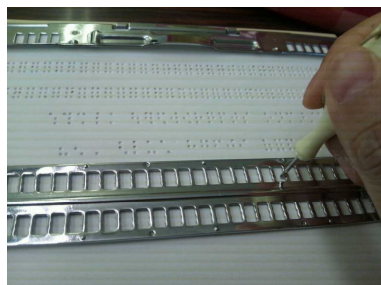
点字講座・松山盲学校との交流体験学習会報告

私たち人権委員会と生徒会役員は、11月10日から点字講座3回と、事前学習会1回で、点字や視覚障害について学びました。

また12月12日には、愛媛県立松山盲学校との交流体験学習会を実施しました。以下、点字講座や松山盲学校との交流体験学習会の報告をします。

1 点字講座

点訳奉仕四つ葉グループの二宮紀子さんと小川静乃さんを講師にお迎えして点字を教えていただきました



《学習内容》

点字の歴史や、打ち方を学び実際に点字を打ち、名刺を作る

2 事前学習会

松山盲学校から渡辺智哉先生に来ていただき、弱視学習体験を行いました。

レンズや拡大読書器を使用して小さな文字を読んだり、目の見え方（視野狭窄、中心暗点、白濁、夜盲症など）について説明を受けました。

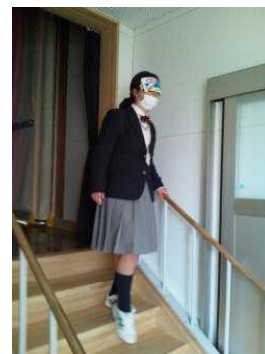


＜参加者の感想＞

- ・点字を打つのは予想以上にしんどかったです。すごく力が入るし、腕が痛くなりました。普通に文字を書くよりも、何倍も大変でした。
- ・点字講座を受けてから身の回りに注目してみると、色々なところに点字があることに気がきました。点字が読めるように勉強したいです。
- ・目の不自由さにも、色々な種類があることを学びました。視覚障害があると、どのように景色が見えるのかを知ることができました。
- ・点字は、1つずれて打ってしまうと文字が変わってしまうので、集中しなくてはいけません。指先だけで点字を読み取るなんてすごいと感じました。
- ・点字を打つのは難しく、数字を打つ前の数符をつけ忘れて、何回も間違えましたが、講師の先生がとても丁寧に教えて下さいました。

3 愛媛県立松山盲学校との交流体験学習

12月12日の午後、人権委員会10名と生徒会役員5名の計15名が松山盲学校を訪問し、松山盲学校高等部の生徒3名と交流体験学習を行いました。自己紹介をしてから、色々な話をしました。その後、体験学習をしました。



＜歩行体験＞



＜白杖歩行体験＞



＜手引きによる歩行体験＞



＜点字教科書＞

アイマスクをつけて、階段の上り下りをしたり、校内を歩きました。手引き歩行の仕方学びました。点字の教科書も見せていただきました。



＜参加者の感想＞

- ・アイマスクをすると、ついさっき目が見えている状態を通った道が、通ったことも見たこともない場所になってしまうようで、左右どちらに手すりがあるのかも分からなくなって、とても不安になりました。
- ・誘導をしてもらう時も、とても不安で、信頼関係がないとできないなと感じました。白杖があっても、こわかったです。
- ・自分達の持っている教科書1冊が、点字だと分厚い教科書7冊にもなると知って、すごく驚きました。世界地図も点字で打ってありました。
- ・もし、自分が見えない状態で段差などでつまづいたりしたら、どんな思いをするのか。手引きしてくれる人がいなければ、何が起こったのかの瞬時には分からなくて、パニックを起こしてしまうのではないかと、怖くなりました。
- ・今後、目の不自由な方を見かけたら、積極的に声をかけたいです。

4 とともに生きる社会をめざして

例えば、車の往来の多い交差点で、白杖を持った方が、渡りたいのに渡れずに立ち往生していたら、あなたならどうしますか。

見ず知らずの人に声をかけるのは難しいものです。どう接してよいか分からず、つい見ぬふりをしたくなるかもしれません。そんなとき、ほんの少し勇気を出して、「何か、手伝うことはありますか？」と試してみませんか。